2022 年7 月23 日発行　毎月12回 （1と3と5と7のつく日）　通巻 7827号

SSTK　１９８３年7月１９日第三種郵便物承認(1)

SSTK

さくら草だより

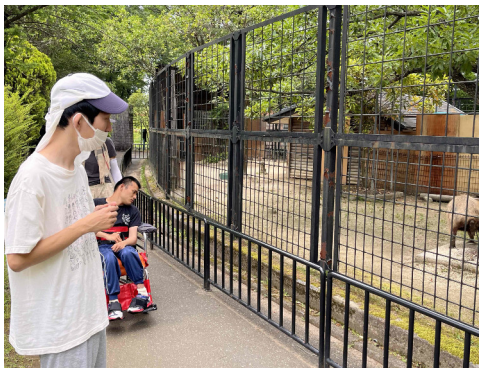
発行人:埼玉県障害者団体定期刊行物協会
〒332-0851
川口市芝新町15-9アステール藤野1階
電話:048-261-5667　頒価:50円

編集人:社会福祉法人さくら草
〒336-0015　さいたま市南区太田窪3501-2
HP:http://www.sakuraso.net/ 電話:048-813-7426
Fax:048-8866301 E-mail:info@sakuraso.net

第60号

もくじ

表紙　久しぶりのお出かけ@大崎公園
②　ニヤリの瞬間～クスッと話
③　かりんかふぇ・職員アンケート
④　さくら草決算報告



6月からあんくじ班では午前日課の一つとして、おでかけ企画をはじめました。約３年ぶりのおでかけで行った場所は、大崎公園です。「おでかけしますよ」の声に思わず笑みがこぼれる方や、楽しみ過ぎて車内でニヤニヤが止まらない方もいました。そんな表情をみて職員までもがニヤニヤ、わくわく嬉しい気持ちになりました。数名ずつでの外出で、まだ全員が出かけられてはいませんが、このような楽しめて笑顔あふれる企画を今後も取り入れていきたいと考えています。

広報誌の封入作業は　デイセンターアトム・アトム班が担当しています

2022年7月23日発行　毎月12回（1と3と5と7のつく日）　通巻7827号　第60号

ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(2)

ニヤリの瞬間

うちのクスッと話

ここでは利用者さんに寄り添う中で、ご家族や支援者がクスッと笑ってしまった出来事を集めお届けしていきます。クスッと話募集中！

私と帽子の物語

アトムに通所している◎さん。◎さんは毎日違う帽子をかぶってくるのではないかというほどの帽子好き。そんな◎さんの得意技は帽子を床に落として拾ってくれた方々と心のキャッチボールをすること。支援者もこのやり取りが大好きでまたかと思っても◎さんの表情を見ると拾ってしまいたくなってしまうんです。

そんな素敵な得意技を持つ◎さんに突如世にも恐ろしい事件が起きました。それはある日の夕方のこと。

◎さんがいつものように送迎車の2便を待っていると道路が混んでいたのでしょう。待ち時間が普段より長く心配になった◎さんは安心を求め帽子をいつものように落とし始めました。その頃支援者は安全を考慮した上で徐々に部屋の片付けや消毒を開始し始めていました。あるもののスイッチを入れて。

支援者が手を洗っているとどこからか聞こえてくる小さなギギギギギという機械音。音の痕跡をたどると◎さんの足元付近から聞こえてきます。恐るおそる◎さんに近づくと・・・◎さんの足元をウロチョロする

お掃除ロボットルンバ

一生懸命帽子をどかそうと右往左往するルンバ。どんどんと遠ざかる帽子。その光景を何とも言えない表情で見つめ焦る◎さんと支援者。そんな時お迎えに来た送迎車の運転手さんはこう語ります。

ロボットが帽子を拾ってくれる時代も遠くないのかもなと。

ある日の午後。偶然隣り合わせた二人がいつの間にかほほえましい光景に。この二人結構仲良しさんです。（コスモス班）

公園一周歩き疲れたJさんと、もう一周したいGさん。Jさんはすぐに車に乗って「さぁ行くよ」とジェスチャーでGさんが誘う！その結果…もう一周歩いてくれたJさんでした。(かりん)

大好きなS職員の異動。"今日いぶきに来るかな？明日は来るかな？？"そんなOさんの想いに寄り添うKさんの姿が…。『会えない淋しさ、僕にもわかるよ‼』と伝えているかの様にOさんが好きだったS職員とのやり取りを再現してあげたり、アルバムをそっと手渡してあげるKさんがいました..＊(いぶき)

夏になると坊主になるKさん。珍しく坊主にしたA職員。もともと坊主スタイルのS職員。【今年は坊主トリオ結成だね！】（ふたば）

２022年7月23日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻7827号　第60号
ＳＳＴＫ　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(3)

かりん　かふぇ

デイセンターかりんでは
”毎月　第2・第4木曜日
10:30～15：30”
＃浦和のオアシス!!
＃地味におしゃれなカフェ
をオープンしております!!(笑)
かりんで作った【季節限定豆腐ドーナツ】や【美味しいコーヒー】デイセンターさくら草の【陶芸品】や【お茶】を販売しております(^^)/かりん一同心よりご来店お待ちしております(≧▽≦)

ドーナツ
各１５０円

手作りドーナツ
MENU

7月21（木）
・レモンピール
・抹茶チョコ

8月18日・25日（木）
・ココアドライフルーツ
・レモンピール

※ドーナツの種類は変更になる事もあります

新職員アンケート

今年度に入り、法人内で沢山の職員、ヘルパーさんが入職しました。今回はそんな皆さんの声を聴いてみたくアンケート実施しました。これをみるとまた面白い発見があるかもしれませんよ？※抜粋したものを掲載しています

Q.さくら草を知ったきっかけは何ですか？

・さいたま市福祉施設一覧やHPをみて	・姉、母の紹介
・求人サイトをみて	・ホームページを見て

Q.なぜさくら草に入りたいと思いましたか？

・利用者さんの明るい雰囲気を見て	・お祭りやイベントもあり楽しそう
・理事長の人柄と見学した時いいなと思い	・働く時間があっていたから
・見学時楽しそうな利用者さんの姿をみて	・７０歳の方も働いていると聞いて私でも
・見学時対応がアットホームでいいなと思い	

2022年 7月 23 日発行　毎月12回（１と３と５と７のつく日）　通巻7827 号　第60号
ＳＳＴＫ　　１９８３年７月１９日第三種郵便物承認(4)

【　2022年度　事業計画　】

新年度が3か月ほど経過した。新型コロナウイルス感染者数の減少傾向が停滞してきた。感染予防対策の緩和は慎重にならざるを得ない。しかし、今年度はウイズコロナで得た新たな様式も取り入れ、事業活動の活性化を目指していきたいと考えている。
前年度は2年目に入ったコロナ禍の影響を受け、事業の持ち直しは微増に終わった。今年度は、人材確保に努め利用者ニーズに応え、利用者支援の運営基盤を安定させていく年度である。
コロナ禍にあっても障がい者支援は、生活を支える不可欠な支援である。あらためて社会機能維持者(エッセンシャルワーカー)の業務が注目され、その待遇に焦点が当てられた。新たな処遇改善手当が加わり、福祉職の職務が評価されたことはコロナ禍の副産物である。人材確保が年々困難になるなか福祉職員の社会的地位の向上や処遇改善の兆しになればと期待する。

対面活動が憚れる状況で、事業の取組みが足踏み状態になりがちであった。しかし非接触の動きは、オンライン会議など移動時間が不要で効率的なコミュニケーションとして活用できる。事業所運営にICTを活かした新たな取り組みも定着していきそうだ。

今年度事業は、改めて前年度事業の取り組みを積み上げていく年度なる。
以下、今年度事業計画の抜粋を紹介する。

１，事業運営の安定化を目指す
・各事業所で人材確保並びに利用者ニーズに応える

２，支援の質の向上に努める
・計画的な資格取得支援（研修受講　喀痰吸引、強度行動障害など）に努める
・さくら草権利擁護憲章の浸透をはかる

３，法人の組織強化に向けた取り組みをする
・人財育成・評価等の強化

４，新規事業として、グループホーム開設に向けた取り組み

５，南区障害者生活支援センターあみ～ご並びに法人内外事業所と共に、南区内の支援の質向上に努める

【202１年度決算報告】（抜粋）
サービス活動収益　929,317千円（前年比35,335千円
サービス活動費用　900,341千円（前年比26,782千円）
サービス活動増減差額 28,976千円（前年比8,553千円）
サービス活動増減差額の率は、3.1%であり、前年度から持ち直した。新型コロナウイルス感染症の雇用調整助成金等が減少する中、サービス提供量の増による実質的な増減差額である。
人件費割合は75%。新たな処遇改善手当と定期昇給によって待遇向上に努めることが出来た。
(山本 宏)

お知らせ

さくら草ホームページがリニューアルしています。
以前より活動中の写真が増えました。そして、職員インタビューのコーナーも追加されました。ぜひお手持ちのスマートフォンで【さくら草ホームページ】検索、もしくは表紙のQRコードを読み取ってご覧ください。

さくら草だよりは晃新印刷さまのご厚意を頂き印刷しております